

一般質問

和田
議員

○水産物輸出拡大施設整備事業により再整備を行った松浦魚市場を核とする加工・物流拠点整備のための新たな用地造成について（県への重点要望項目）

質 市から県への要望の経緯を踏まれば、事業化に必要な地元の理解と同意、これは当然、松浦市が責任を持って取り付けるのが筋だと考えます。そのことを踏まえて、県要望当日、市長はどのような説明をされて、知事からはどのような回答を得られたのか、お示しをください。

市長 水産物を輸出していくという目的達成のための手段としてこの廃棄物埋立護岸事業を考えていただきたいと申し上げ、県のお力をお借りしたいと伝えました。知事からは3つ回答があり、1つ目は、松浦市が輸出拡大の取り組みを推進するという目的の重要性は認識していること、2つ目は、今回の事業は地元の理解が一番であり、その地元調整については、県もその手法などの検討も含め協力していくこと、3つ目は、事業への理解が得られた場合は事業化を進めること、以上の3つの回答が知事本人から直接私にありました。

今後は、県ともさらに強力に連携し、調川港の廃棄物埋立護岸整備事業の県事業採択に向けて引き続き関係者の皆さまのご理解をいただいた上で早期に事業着手できるよう努力を続けていきたいと考えています。

質 今年度の重点要望項目の2項目（鷹島神崎遺跡の保存と活用を含む）について、現状を打開し当初の目的を達成するためには強力な政治力が必要であると考えます。そのために、市長自らが政治家としての力強いリーダーシップを示す必要があると思いますが、このことに関して市長の考えをお尋ねします。

市長 県への重点要望項目を含む本市独自の施策の推進については、公約として掲げた「ともだビジョン」でも示しているとおおり、市民との対話を重視し、その決定過程や目標を市民皆さまと共有して取り組んでいきたいと考えています。また、従来のやり方に固執せず、見える視点と支える支点、2つの「してん」を変えることで、今までの発想とは違う新しい松浦をつくる、その決断こそが市長としてのリーダーシップであると考えています。引き続き、市議会をはじめ、市民皆さまのご支援とご協力をいただきながら、これまでの政治活動で得られた知識や経験、国や県とのパイプを生かし、市民との対話でつくる新しい市政による各種施策の実現に向けて積極的に取り組んでいきたいと考えています。

一般質問

水
志
議員

○市民に優しい子育て支援、施策について

質 子育て支援施策の実績を踏まえた効果の検証と支援施策を進める上での課題の抽出、施策の選択や制度の見直しによって、子育て世帯が必要としている支援を展開する必要性を感じているが、理事者側の見解をお聞きたい。

子育て・こども課長 第二期松浦市子ども・子育て支援事業計画の実現のため、年度ごとに施設の状況や事業の進捗状況の把握、評価を行っており、今後もこの方針に沿って取り組んでいきたいと考えています。

質 学校給食費への助成制度の復活に向け、過去の支援制度の設計内容の見直し、あるいはリセットすることも含めて、制度復活に向けた検討を行う考えはないか。

市長 給食費の助成事業は、導入当時、子育て支援に加えて給食費の未納額を減らすという目的がありました。平成30年度の子育て支援アンケートの調査結果から、高校生までのインフルエンザ予防接種費用の一部を助成する事業に変更しました。今後、保護者の皆さまのニーズを把握しながら丁寧に皆さまの声を聞いていきたいと考えています。

○市営住宅、教員住宅の現状と柔軟な活用について

質 入居率が低調に至っている原因をどのように捉えているのか。

教育総務課長 老朽化し、設備も古いことから空き家になっていると思われる。また、周辺地域の住宅事情がよくなったことにより民間住宅への入居が増えたこと、道路事情がよくなり通勤エリアが広がり、結果として教職員住宅のニーズが低くなったのではないかと捉えています。

質 教職員住宅の整備目的と、教職員の入居を促すため、教育委員会として、これまでどのような方針を掲げ、具体的な取り組みを展開してきたのか。

教育総務課長 市内の勤務地に赴任される教職員に安定的に住居を確保することを目的として必要な教職員住宅の整備を行ってきました。入居を促すことについては、赴任地の校長を通して教職員住宅を紹介してもらっている状況です。

質 現在、長期にわたって空き家となっている教職員住宅について、新たな活用を図るため柔軟に活用する考えはないか。

市長 地区などの要望も聞きながら、財産処分も含め有効な活用策がないか、今後検討していきたいと考えています。